

石川北

人気バンド「ブラフマン」



全国から寄せられた菓子を届けたトシロウさん
—七尾市能登島地区コミュニティセンター—

子どもたちに「頑張ろう」

「二十歳の誓い」
来月24日に開催
宝達志水
宝達志水町は地震の影響で延期した「二十歳の誓い」(旧成人式)を2月24日、町役場で開催することを決

能登島に大量の菓子

男性4人組の人気バンド「BRAHMAN(ブラフマン)」は23日、被災者支援で七尾市能登島を訪れ、全国のファンから届いた大量の菓子を子どもたちに届けた。2011年の東日本大震災以降、全国の被災地を回るメンバーは「みんなの笑顔が

を設けたり、支援物資を届けたりしてきた。
音楽仲間を通じて木材卸業者「フルタニランバー」(金沢市)の古谷隆明社長(41)から能登の惨状を聞いたトシロウさん。22日に同市菊川1丁目のライブハウス「vanavanv4」で、チャリティーライブを開き、ファンなどに呼び掛けて集まった支援物資を能登島の子どもたちに届けた。

民宿「山水荘」(能登島祖母ヶ浦町)の石田直人さん(40)の案内で、能登島の被害状況を見たメンバーは「被災地の未来を支えるのは子どもたち。生活を取り戻せるまで能登を支援したい」と話した。

「仏の縁」で

七尾・山の寺寺



1.1大震災

寺の本堂や山門などが崩壊した。佛光山は日本各地に分院があり、東日本大震災などの際も被災地支援に取り組んだ。能登半島地震で寺院群も被害に遭ったことを知って支援を決めた。23日は大阪と名古屋から18人が訪れた。片付けの手伝いを希望した日蓮宗本延寺と曹洞宗龍門寺では、崩れた土壁の残骸を取り除いたほか、床の水拭きなどに励んだ。



地震で被害が出た部屋を掃除する佛光山の関係者
—七尾市の本延寺—

久々の散髪 子ども笑顔

能登島の避難所

三重県川越町と兵庫県・淡路島の美容師2人が23日、避難所の七尾市能登島地区コミュニティセンターで子どもたちの散髪ボランティアに取り組んだ。能登島の大部分で断水が続いており、水がいら

三重と淡路島の美容師奉仕

2人は「サステナブルヘアサロン心結」の上田亜紀さん(50)と都築宏行さん(49)で、「少しでも子どもたちに癒やしを届けたい」と知人を通じて能登島を訪れた。住民は断水続きで十分に入浴できていない。4月以降まで断水が解消しない見通しの能登島綾目町の細川晃汰君(11)は「久しぶりに髪を切って気持ちいい。格好良くなったかな」と笑顔で話した。



子どもたちの髪を切る都築さん(右)と上田さん(左奥)
—七尾市能登島地区コミュニティセンター—

の応援物資としてカップ麺4千食が贈られる。羽咋中で23日、贈呈式が行われ、生徒らが感謝した。市と日航は包括連携協定を結んでおり、3年連続で

七尾 3小学校25、26日再開

立ち入り禁止など措置

七尾市教委は25日から小丸山小と田鶴浜小、26日から石崎小で3学期の授業を

容に変更はない。今後、該当者に通知する。参加人数を把握するため希望者はウェブで申し込みをするよう求めているが、事前申し込みがなくても参加できる。

再開していない山王、東湊、能登島の3小学校も早期の再開に向け、仮設トイレの増設などを進めている。避難所の山王小は分散登校も検討する。市は長期化する断水に不安を抱える市民が多いとして、ホームページで断水の解消地域や復旧作業の進捗状況の公表を始めた。

カップ麺は国際線の機内で提供されるオリジナルの「らーめんすかい」など3品。日航の糸数寛北陸支店長が生徒会副会長の高見優輝さんに贈呈した。生徒会長の岩網一稀さんは謝辞で、修学旅行のフライトで上空から見た能登の景色は一変したとし「私たちにできることは目の前にあることに向き合い、みんなで克服していく」と決意を述べた。

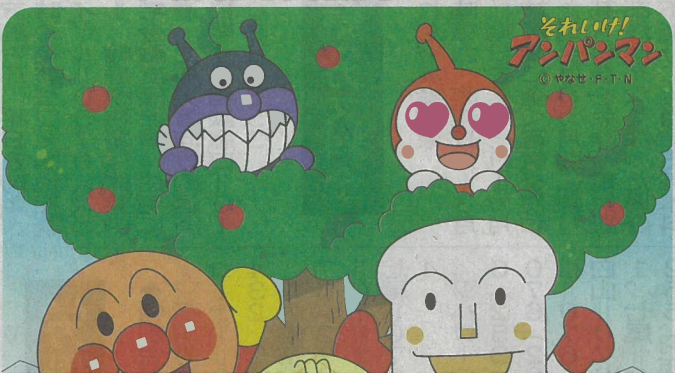
県内料理店主ら
プロの味届ける
能登町柳田小

能登町柳田小に23日、県内の料理店主などをつくる団体「北陸チャリティーレストラン」(金沢市)からサケのクリームシチュー約300食が届けられ、避難住民や同小と柳田中の児童生徒、教職員がプロの味で気分を癒やした。町内でブルーベリーを栽培する農園の平美由記代表が、団体メンバーと知り合っていたことから実現した。料理は金沢市内から約5時間かけて運ばれた。今後26日まで団体からさまざまな料理が提供される予定。6年の千徳浩人君(11)は「おいしかった。わざわざ運んでもらい、うれしい」と笑顔を見せた。



プロの味を堪能する児童
—能登町柳田小—

こども共済資料請求キャンペーン



あつまれちびっこ広場

小学生以下のお子様の写真を募ります

初誕生や

本紙ご購読 無料で毎月

ご希望の方は右下の2次元コード